

平成 27 年度 霞ヶ浦用水送水管管内調査を実施

水資源機構では施設の長寿命化を図るため、施設の健全度調査並びに保全計画の策定を進めています。霞ヶ浦用水管理所においても送水管の内面からの目視確認を含む調査を実施し、健全度の把握に努めています。

調査場所：茨城県土浦市手野地内

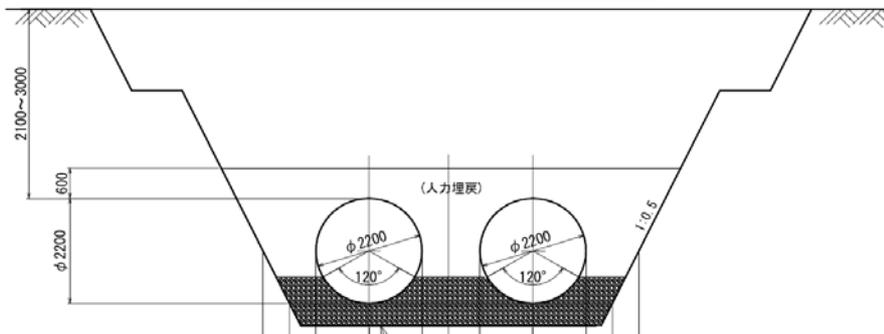
調査延長：L＝約 2.4 km（左右管：合計 4.8 km）

調査内容：管内目視調査、管のたわみ測定、継目間隔測定、管底高測量など

調査期間：平成 27 年 11 月 ～ 平成 28 年 3 月



霞ヶ浦用水送水管標準断面図



今年度は、12月中旬から1月中旬まで送水管右側の管内の目視調査や管のたわみ量の計測等を行いました。引き続き左管の調査を実施する予定です。



また、1月8日に関係機関を対象とした見学会を行い、約10名の参加がありました。当日は管内調査内容の説明や約1 kmの管内を歩いていただき、霞ヶ浦用水施設の劣化状況を確認してもらいました。